



2025 年度 まちづくりセミナー

地域の魅力を引き出す！



地方創生の成功事例と実践法

地方創生を成功させるためには、マーケティングや広報戦略を駆使した地域資源の活用、地域住民の参画、そして持続可能な成長を見据えた取り組みが必要です。
本講演で紹介される実践的な事例は、地域活性化に取り組む上で具体的なヒントを与えるものであり、今後の活動をより効果的に進めるための有益な手がかりとなるでしょう。

日 時 2025年 11 月 14 日 (金)

開場 12:30 開演 13:30~17:30

会 場 阿倍野区民センター 小ホール 300 席

(入場無料)

〒545-0052 大阪市阿倍野区阿倍野筋 4-19-118

電話: 06-4398-9877

対 象 者 国・近畿各府県の公共団体・機関の職員

申込方法 パソコン・スマートフォンからお申し込みください

パソコンの場合は下記の URL に直接アクセスしてください

<https://www.type-b.co.jp/reply/p1278330229/319680597/>

スマートフォンの場合は、QR コードを読み取ってください



2025年 10 月 29 日 (水) 締め切り

【主 催】 一般社団法人 近畿建設協会

【事務局】 (株)UR リンケージ 西日本支社

【お問い合わせ】 (株)UR リンケージ 西日本支社

E-mail: tosisaisei-m@urlk.co.jp

Tel: 06-6949-5731 Fax: 06-6949-5743

プログラム

13:30~13:35

開会挨拶

一般社団法人 近畿建設協会

理事長 谷本 光司

13:35~14:25

糸島ブランド戦略

～データとマーケティングでつくる地域の力～

講師: 福岡大学 経済学部 産業経済学科

准教授 岡 祐輔 氏

14:25~15:15

離島からの挑戦!

～最後尾から最先端へ～

講師: 島根県隠岐郡海士町

町長 大江 和彦 氏

15:15~15:30 (休 憩)

15:30~16:10

地域をブランディングする、通販ビジネス

～地域の魅力を発見し、コンセプト

(考え方)を決め、発信する～

講師: 株式会社ハル

代表取締役社長 中村 あつ子 氏

16:10~16:50

写真が地域の観光を変える!

～PR だけじゃない取り組むべき施策とは～

講師: 東京カメラ部株式会社

地方創生担当執行役

柄木 孝志 氏

16:50~17:30

市民と協働した情報発信で、まちのファンを増やす

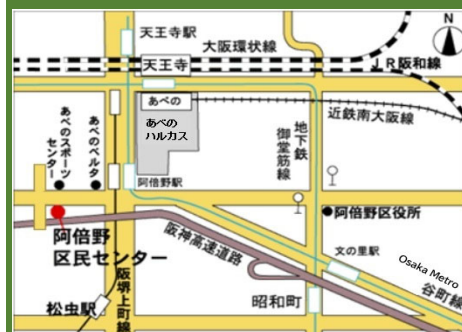
～まちの未来に効くシティプロモーション～

講師: 奈良県生駒市役所 広報広聴課

課長補佐 兼 プロモーション係長

村田 充弘 氏

会場アクセス: 阿倍野区民センター



Osaka Metro 谷町線「阿倍野」駅: 徒歩 2 分

Osaka Metro 御堂筋線「天王寺」駅: 徒歩 10 分

JR「天王寺」駅: 徒歩 10 分

近鉄南大阪線「大阪阿部野橋」駅: 徒歩 10 分

講師と講演概要

《基調講演》福岡大学 経済学部 産業経済学科 准教授 岡 祐輔 氏



演 題：糸島ブランド戦略

～データとマーケティングでつくる地域の力～

講演概要：糸島市での経験をもとに、地域ブランディングの進め方や政策立案に役立つ実務のコツを紹介します。観光や産業振興の事例を取り上げながら、データを使った課題の見つけ方や戦略の組み立て方、住民や事業者をどう巻き込むかを具体的にお話しします。自治体職員の皆さんが日々悩む「最初の一步の踏み出し方」「どう実行につなげるか」にヒントを届け、明日から現場で試せるアイデアを持ち帰っていただける内容です。現場でのリアルな失敗や工夫も交えながら、等身大の実践知を共有します。

【略歴】

2003年糸島郡二丈町役場に入庁(現：糸島市)。九州大学ビジネススクールにて2016年MBAを取得。異色のMBA公務員として、データ分析やマーケティングなどの民間経営手法を活かし、数々の政策アイデアをカタチにした戦略を実行。「地方創生☆政策アイデアコンテスト2016」において「地方創生担当大臣賞」を受賞するなど数々受賞歴有。2024.4から福岡大学 経済学部 准教授。著書は4冊(amazonで検索)

《講演 1》島根県隠岐郡海士町 町長 大江 和彦 氏



演 題：離島からの挑戦！

～最後尾から最先端へ～

講演概要：合併を拒否し単独町政を選択した海士町。人口減で存続の危機にさらされながらも「自立・挑戦・交流」を経営指針に掲げ、島の魅力を磨き「よそ者」を積極的に登用しながら大胆な改革を実行。特産の「いわがき」や「隠岐牛」のブランド化をはじめ、全国に先駆けて「特定地域づくり事業協同組合」や公務員の副業を可能とする働き方改革を実践。さらには、全国でも例のない「大人の島留学」と銘打った海士町の還流プロジェクトには、本年、全国から200名ものZ世代が来島。若者達の熱気と挑戦で島は活気づいている。

《講演 2》株式会社ハル 代表取締役社長 中村あつ子 氏



演 題：地域をブランディングする、通販ビジネス

～地域の魅力を発見し、コンセプト（考え方）を決め、発信する～

講演概要：1986年に創業し、マーケティング調査や商品開発、通販ビジネスのコンサルティングを手がける。地域の魅力を発見し、地域を売り出すコンセプト（考え方）を決め、地元の産物を通販商品にし、地域ブランディングを展開。また、石川県のフリーマガジン「Fのさかな」の初代編集長として石川県の魅力を発信するとともに、通販ビジネスのノウハウを活かした地域ブランディングに取り組む。

《講演 3》東京カメラ部株式会社 地方創生担当執行役 柄木 孝志 氏



演 題：写真が地域の観光を変える！

～PRだけじゃない取り組むべき施策とは～

講演概要：1枚の写真が地域を変えた。今、自治体の観光施策にとって「写真」というツールは切り離せない要素となっています。自治体としてこの点を取り入れているところも多いですが、実は大半はプロモーションのみであり発展的的事业になりえていない現状です。重要なことは継続的的事业を生み、自走できるコンテンツなどを創ること。日本最大規模の写真投稿アカウントを運用する弊社だからこそ見えてくる数値を含め、今回は写真を使った地方創生の重要なポイントについてお話しします。

《講演 4》奈良県生駒市役所 広報広聴課 課長補佐 兼 プロモーション係長 村田 充弘 氏



演 題：市民と協働した情報発信で、まちのファンを増やす

～まちの未来に効くシティプロモーション～

講演概要：奈良県生駒市が取り組むシティプロモーション「グッドサイクルいこま」は、主体的に地域に関わろうとする意欲の高い「まちのファン」を増やす取組に力を入れています。中でも、グッドデザイン賞を受賞した、市民PRチーム「いこまち宣伝部」が特徴的です。10年間で市民が市の魅力を発信した数は1,500件以上。活動をきっかけに生駒を推奨する意欲が高まり、地域に関わる現役世代が増えています。シティプロモーションは単なる宣伝ではありません。「まちが持続的に発展・成熟していく基盤をつくる」ために自治体や地域ができることを考えます。